

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2020.04.No272

4月号

目次

「会長再任にあたり」	1
特集 令和2年 定時総会報告	2
道士会の動き	4
Coffee Break	6
新建築士免許交付式	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>



「会長再任にあたり」

一般社団法人北海道建築士会 会長 高野 壽世

温暖化が心配になるほどの雪の少なさも2月の降雪で帳消しになり、今年も平年並みの雪解けとなりました。4月とは言えまだまだ肌寒い日が続いていますが、会員の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、皆様には、日頃から本会の運営にご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。さて、この度、コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面決議とした定時総会、その後の理事会におきまして、会長に選出されましたので、紙面をお借りして一言ご挨拶させていただきます。

昨年の秋は、ラグビーのワールドカップにおいて、外国出身選手が半数を占める日本代表チームが、言葉の壁を乗り越え、素晴らしいチームワークでベスト8まで進むという快挙を成し遂げました。なにか、建設業をはじめ農業、漁業、林業など多くの分野で人手不足、担い手不足と言われるわが国のこれからの進むべき姿、形を見たような感じを持ったのは私だけではないと思います。

私たちの足元を見ると、建築士受験者の減少、建築士の高齢化と言われて久しい建築士制度について、建築士会、事務所協会、建築家協会の三団体の要望により、一昨年12月、建築士法の改正が行われました。そして、いよいよ本年3月1日、建築士試験において受験要件であった実務経験を登録要件とするほか、実務経験の内容の見直し等々の改正建築士法が施行されました。

日本建築士会連合会では、大学院インターンシップに関わる大学院実務経験確認審査や実務経験審査をはじめとする登録事務等を円滑に推進する建築士登録機関等登録協議会の設立に向けて準備を進めているところです。本会においても、新たな業務となる登録事務等に関わる事務局体制を早々に確立するとともに、それらの業務に緊張感をもって取り組んでまいります。

本会は、建築士資格者の団体として会員の皆様を支援することはもとより、その声を社会に発信し、

社会的責務を果たさなければなりません。そのためには、本部と支部がしっかりと財政基盤のもと、健全な運営をすることが求められており、会員増強は必須であります。まずは今期の喫緊の課題として次の2点に軸足を置き、より魅力ある建築士会を皆様とともに目指してまいります。

1点目は、改正建築士法の施行に伴い今年から誕生する、まだ所定の実務経験はないが、建築士の学科及び製図試験に合格した方々を対象にした入会を促す施策の確立であります。これには、全国47建築士会との協調も必要となることも考えられ、その是非も含め早急に検討を進めてまいります。

2点目は、昨年施行された改正建設業法において、建設工事に従事する者に対して、知識及び技術の向上の努力義務が課せられました。これを踏まえ、建設技術者の能力向上に向けた継続的な技術研鑽を促進するため、CPDを建設業の経営事項の審査の要素とする審査基準の改正が令和3年4月に施行される見込みとなっております。このことから、建築士会CPDの本会における運用の見直しを図り、活用拡大とそれに伴う会員の増強を進めていきたいと考えています。

また、従前から取り組んでまいりました地域完結型応急危険度業務の地元自治体と支部との協定締結については、引き続き地域での建築士会の求心力の回復、ポジションの確立を目指して、各支部を支援してまいります。

結びに、今年度は、会員の皆様の発意による自主活動グループに対し初動期から支援する仕組みを新たに構築いたしました。会員の皆様には、既往の委員会活動とは一線を画す活動に積極的な活用を期待するところです。今期につきましても、皆様のお力添えを重ねてお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。

令和2年(一社)北海道建築士会定時総会報告

定時総会開催 (書面決議により実施)

令和元年事業報告及び収支決算、会費の改定、定款の改定承認 ～役員改選7名の理事が新任～

新型コロナウイルス感染症予防のため令和2年3月19日(木)開催予定だった「令和2年定時総会」について、招集による総会を取りやめ書面決議による総会となりました。定時総会の目的である事項及びそれらを書面により決議することを代議員のみなさま

へ提案をし、全ての代議員から同意が得られたため、下記提案について令和2年3月26日(木)に可決されました。

事務局

提案事項 (定時総会の目的である事項)

- [議案第1号] 令和元年 一般会計事業報告及び収支決算
- [議案第2号] 令和元年 特別会計事業報告及び収支決算
- [議案第3号] 全国大会特別会計事業報告及び収支決算
- [議案第4号] (一社)北海道建築士会会費規則の改定
- [議案第5号] (一社)北海道建築士会定款の改定
- [議案第6号] 役員改選について

議案第1号～6号の主だった内容は以下のとおり

「議案第1号」

◆令和元年 一般会計事業報告

「委員会所管事項」

◎ 総務委員会

- ・組織運営の適正化に係る対応
- ・関係機関との意見交換会等の実施
- ・建築関係団体との連携
- ・専攻建築士制度等に関する事項
申請：2名 3領域、必要に応じ評議会等の開催
- ・建築士会継続能力開発 (CPD) 制度の促進
CPD参加登録者889名
CPDプログラム審査評議会及び同部会の開催等
表彰の実施、赤レンガ建築賞への共催等
会長表彰の実施・連合会会長表彰の推薦

◎ 事業委員会

- ・新たな事業開催検討
- ・「改正建築士業務報酬基準説明会」の開催：356名受講
- ・「防水セミナー2019」の協賛：80名受講
- ・「改正宅地建築物取引業法に対応した既存住宅状況調査技術者講習 (新規・移行)」の開催：新規53名受講・移行6名受講
- ・「建築生産入門講習会」の開催：14名受講
- ・「次世代ポイント制度と住宅リフォーム工事講習会」の開催：53名受講
- ・「改正民法が建築士業務に与える影響等に関する説明会」の開催：63名受講
- ・「総合図作成ガイドライン解説講習会」の開催：9名受講

◎ 情報委員会

- ・会誌「北海道建築士」(257号～268号発行)
- ・ホームページの運用
- ・全国大会 (北海道大会)「北海道建築士号外」発行

◎ まちづくり委員会

- ・「まちづくりフォーラムin江別」開催：38名参加
- ・「高校生建築デザインコンクール」の実施 (応募数148作品)
- ・高校生「建築甲子園」の実施 (応募3作品)
- ・北海道・札幌市の景観整備機構の運営
- ・建築士会連合会会議への参加
- ・「景観まちづくり塾 (夕張市)」の開催：38名参加

◎ 青年委員会

- ・「全道青年委員会連絡会議」札幌市開催：72名参加
- ・「青年建築士の集い」厚真町開催：70名参加
- ・「ブロック協議会活動」4ブロック協議会会議 計12回開催

- ・日本建築士会連合会委員派遣
- ・「社会貢献活動」新さっぽろアークシティ サンピアザ光の広場で開催
- ・「建築士の日のイベント」【建築のお仕事体験】：参加者 (600名参加一般市民)

◎ 女性委員会

- ・各ブロック活動 勉強会・見学会等の開催を支援
- ・女性建築士の集い開催 札幌市開催：24名参加
- ・日本建築士会連合会委員派遣
- ・「建築士による家庭科住教育出張講座」 4校実施
- ・他団体への協力「DOはぐ研修」開催
- ・全国女性建築士連絡協議会への参加

◎ 被災地応急支援委員会

- ・応急危険度判定地区協議会への協力
- ・応急危険度判定ネットワークの構築
- ・応急危険度判定訓練・コーディネータ研修への参加
- ・机上訓練の実施 千歳市18名参加 旭川市21名参加
- ・「防災セミナー」の開催：29名参加

◎ 会員増強特別委員会

- ・新建築士セミナー・免許証明書交付式の開催

◎ ヘリテージマネージャー特別委員会

- ・「ヘリテージマネージャー育成講習会」
修了者 ヘリテージマネージャー 20名
ヘリテージコーディネーター5名

◎ BIM推進特別委員会

- ・BIMの普及支援

「事務局所管事項」

- ・一級、二級、木造建築士試験の実施

試験種別	合格者(名)	合格率(%)	
		北海道	全国
二級	110	11.8	22.2
木造	0	0.0	33.3
一級	83	8.8	12.0

- ・一級、構造・設備設計一級建築士登録等の業務
新規 97件 事項変更等 205件
- ・二級・木造建築士登録等の業務
新規 147件 事項変更等 227件
- ・応急危険度判定士認定関係 12月末有効認定者数 2,947名
- ・応急危険度判定士認定講習会 7会場開催 受講者 167名
- ・北海道建築士震災建築物応急危険度判定認定講習会
2会場開催 受講者 39名
- ・建築士定期講習 11会場開催 受講者 634名
- ・監理技術者講習の開催 全道 5ヶ所：受講者 88名
- ・「第52回建築基準法講習会」開催
全道 19ヶ所：受講者 1,282名

「議案第2号」

◆特別会計事業報告

- ・北海道建築士会地域貢献活動センター地域貢献活動基金事業助成

札幌支部 事業名「「DOはぐ」避難所運営ゲーム」助成
 「議案第3号」

正味財産増減計算書

令和31年1月1日から令和元年12月31日まで

◆全国大会特別会計事業報告

- ・第62回全国大会「北海道大会」の開催
 開催日 令和元年9月21日(土)
 開催地 函館アリーナ(函館市)
 テーマ 「RE+(リ・クロス) -明日のまちに輝きを-」
 参加者人数:2,926名

一般社団法人 北海道建築士会

(単位:円)

◆令和元年収支決算報告

貸借対照表

令和元年12月31日現在

一般社団法人 北海道建築士会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	61,813,598	61,035,629	777,969
未収金	3,196,466	3,032,838	163,628
前払金	0	4,238,862	△ 4,238,862
貯蔵品	764,028	940,678	△ 176,650
立替金	1,132,470	360,961	771,509
前払費用	464,999	429,665	35,334
流動資産合計	67,371,561	70,038,633	△ 2,667,072
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当資産	8,821,230	8,220,533	600,697
財政調整積立預金	45,676,539	44,267,132	1,409,407
大会積立資産	0	0	0
特定資産合計	54,497,769	52,487,665	2,010,104
固定資産合計	54,497,769	52,487,665	2,010,104
資産合計	121,869,330	122,526,298	△ 656,968
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	351,093	466,773	△ 115,680
未払費用	352,084	48,875	303,209
前受金	5,269,840	5,605,960	△ 336,120
前受会費	18,563,600	19,103,400	△ 539,800
預り金	1,677,523	1,718,569	△ 41,046
短期借入金			0
流動負債合計	26,214,140	26,943,577	△ 729,437
2. 固定負債			
長期借入金	0	0	0
退職給付引当金	8,821,230	8,220,533	600,697
預り出資金	0	0	0
固定負債合計	8,821,230	8,220,533	600,697
負債合計	35,035,370	35,164,110	△ 128,740
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産合計			
負担金	△ 1,500,000	△ 1,500,000	0
寄付金	50,000	50,000	0
指定正味財産合計	50,000	50,000	0
一般正味財産	86,783,960	87,312,188	△ 528,228
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(45,676,539)	(44,267,132)	1,409,407
正味財産合計	86,833,960	87,362,188	△ 528,228
負債及び正味財産合計	121,869,330	122,526,298	△ 656,968

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収益	62,561,400	64,360,584	△ 1,799,184
事業収益	22,404,848	21,524,414	880,434
受託収益	19,296,512	28,846,605	△ 9,550,093
助成金収益	6,921,463	8,232,862	△ 1,311,399
退職給与引当金戻入	0	10,500	△ 10,500
受取補助金等	0	0	0
雑収益	30,531,244	28,138,257	2,392,987
経常収益計	141,715,467	151,113,222	△ 9,397,755
(2) 経常費用			
事業費	110,319,683	117,145,986	△ 6,826,303
講習会等費	5,472,226	5,098,412	373,814
二級・木造建築士登録等業務費	769,563	849,720	△ 80,157
継続能力開発制度費	345,380	299,866	45,514
専攻建築士制度費	65,437	130,520	△ 65,083
その他事業費	3,464,071	3,459,830	4,241
広報・情報費	6,571,562	6,962,820	△ 391,258
大会関係諸費	211,480	5,262,088	△ 5,050,608
委員会活動費	12,540,409	13,631,886	△ 1,091,477
人件費	21,705,332	23,900,798	△ 2,195,466
受託事業費	7,913,245	8,547,789	△ 634,544
助成金	6,849,527	852,991	5,996,536
需要費	17,784,413	19,680,648	△ 1,896,235
雑費	26,627,038	28,468,618	△ 1,841,580
管理費	28,204,577	30,427,593	△ 2,223,016
人件費	1,964,370	4,019,484	△ 2,055,114
会議費	2,648,286	2,301,353	346,933
旅費交通費	6,468,522	5,941,103	527,419
需要費	626,546	1,384,800	△ 758,254
対外費	3,029,962	2,990,009	39,953
雑費	111,811	276,844	△ 165,033
連合会費	13,355,080	13,514,000	△ 158,920
支部交付金	0	0	0
経常費用計	138,524,260	147,573,579	△ 9,049,319
評価損益等調整前当期経常増減額	3,191,207	3,539,643	△ 348,436
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,191,207	3,539,643	△ 348,436
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
退職給与引当金繰入	600,697	500,654	100,043
経常外費用計	600,697	500,654	100,043
当期経常外増減額	△ 600,697	△ 500,654	△ 100,043
他会計振替額	3,118,738	0	3,118,738
当期一般正味財産増減額	△ 528,228	3,038,989	△ 3,567,217
一般正味財産期首残高	87,312,188	84,273,199	3,038,989
一般正味財産期末残高	86,783,960	87,312,188	△ 528,228
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III 正味財産期末残高	86,833,960	87,362,188	△ 528,228

「議案第4号」

◆(一社)北海道建築士会会費規則の改定

令和3年会費より正会員は15,000円、準会員は12,000円に改定

「議案第5号」

◆(一社)北海道建築士会定款の改定

- ・「賛助会員の定義」改定
- ・「代議員選出に係る正会員の割合」を100人から80人へ改定

「議案第6号」

◆役員の変更

任期満了に伴う役員の変更が行われ、令和2年・3年の役員として、理事21名、監事2名が選出された。令和2年3月27日、新役員による第2回理事会が開催され、会長・副会長・専務理事が選出された。

令和2・3年 (一社)北海道建築士会 役員名簿

役職	支部名	氏名	役職	支部名	氏名	役職	支部名	氏名
会長	札幌	高野 壽世 再任	副会長	札幌	鈴木 基伸 再任	副会長	苫小牧	佐藤 芳則 新任
統括理事	札幌	針ヶ谷拓己 再任	統括理事	函館	山内 一男 再任	統括理事	北見	庵 敏幸 再任
統括理事	旭川	中澤 光夫 再任	専務理事	札幌	鈴木 功一 新任	常務理事	札幌	牛田 健一 再任
常務理事	札幌	西岡 誠 再任	常務理事	恵庭	伊藤 隆英 再任	理事	日高	高橋 幸二 新任
理事	千歳	丹波 泰哉 新任	理事	旭川	斎藤 勝哉 再任	理事	札幌	清水 浩史 新任
理事	札幌	小町 美穂 再任	理事	小樽	近藤 真人 新任	理事	札幌	工藤美智子 再任
理事	苫小牧	中原 茂人 再任	理事	釧路	香川 博 新任	理事	名寄	遠藤 光博 再任
監事	札幌	久島 正嗣 新任	監事	小樽	本間 恵美 新任			

◆東西アスファルト事業協同組合様への感謝状贈呈

例年、本会事業に助成金をいただいている東西アスファルト事業協同組合様へ総会前に感謝状をお渡ししていましたが、総会を书面決議による実施としましたので、令和元年度にいただいた150万円の助成に対する感謝状を、3月19日(木)当該組合様に伺い、会長よりお渡ししました。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う北海道建築士会主催、運営の
講習会、イベント等の中止・延期による今後の対応及び開催について

■建築士定期講習

令和2年3月・4月開催予定の講習会中止により3年の受講期限内に受講できなくなるケースが想定されますが、このことについて国土交通省は、一級建築士に係る建築士法の監督規定の取り扱いを柔軟に行うことを予定し、二級・木造建築士についても同様に取り扱いを柔軟に行うことを北海道も予定しております。明確な受講期限などは、国土交通省(住宅局建築指導課 03-5253-8111 (内線39520・39542))へお問合わせください。また、建築士会主催の定期講習を今回受講できなかった方へは(公財)建築技術普及センターより郵送にて受講について案内がありますのでそれまでお待ちください。

北海道建築士会では、第1期に旭川市5月28日、札幌市6月2日、第2期に稚内市7月21日に開催決定しています。第3期・4期も例年どおり(札幌・室蘭・函館・苫小牧・帯広)開催予定です。詳細は、同封の「令和2年建築士定期講習案内」をご覧ください。

■監理技術者講習

令和2年3月開催予定の建築士会主催「監理技術者講習」を受講申込の方へは、「自習学習」の方法により受講されておりますが、解答用紙、学習報告書を提出済みで、まだ修了ラベルが届いていないなどありましたら(公社)日本建築士会連合会(03-3456-2061)へお問い合わせください。

■令和元年度北海道建築士会まちづくり会議

令和2年2月29日開催予定の「令和元年度北海道建築士会まちづくり会議」は中止となりました。今後の開催については未定です。

■令和2年全道青年委員連絡会議

令和2年3月28日開催予定の「令和2年全道青年委員連絡会議」は中止となりました。別日で書面開催とし各支部青年委員長へ会議議案を送付し開催としました。

■B I M勉強会

令和2年3月17日4月21日開催予定の「第1回・第2回B I M勉強会」は中止となりました。今後の開催予定については下記のとおりです。

第3回 5月19日(火) 第4回 6月16日(火)

4月以降の講習会、イベント等の開催については、今後の状況を配慮し検討していきます。詳細については、北海道建築士会ホームページ等でお知らせいたします。

建築士法の一部を改正する法律等施行に伴う 一・二級、木造建築士試験受験要領変更について

令和2年3月1日に新建築士法制度がスタートしました。(変更の詳細は「北海道建築士No271」3月号に掲載) それに伴い建築士試験受験要領も変更になっています。

■試験日程

	一級建築士試験	二級建築士試験	木造建築士試験
学 科	7月12日(日)	7月5日(日)	7月12日(日)
設計製図	10月11日(日)	9月13日(日)	10月11日(日)

一級建築士試験の学科試験は、例年7月第4週日曜日に実施しているが、令和2年は、東京オリンピック・パラリンピック大会期間中となることから、2週間早い日程で実施します。

■受験申込期間

新型コロナウイルス感染症対策に伴い令和2年は、対面受付を行いません。郵送受付又はインターネット受付のみとなります。また、上記試験日程の繰り上げに伴い受験申込受付期間についても、例年より早い日程となっておりますのでご注意ください。

一級建築士試験申込

〈郵送〉

4月1日(水)から4月20日(月)

〈インターネット※〉

4月13日(月)から4月20日(月)

二級・木造建築士試験申込

〈郵送〉

3月9日(月)から4月13日(月)

〈インターネット※〉

4月13日(月)から4月20日(月)

※インターネット受付は一級(平成15年)、二級・木造(平成16年)以降に受験した方で、申込に必要な個人情報の使用を承諾している方のみ

※令和2年の対面受付は行いません。

■建築士受験に関する変更点

〈郵送による受験申込受付が可能〉

一、二級・木造建築士試験を受験される全ての方が郵送でお申し込みできるようになりました。

〈受験申込時に必要な実務経験年数が軽減〉

一級建築士試験すべての受験申込者、二級・木造建築士試験を「学歴」「学歴+実務経験」^(※)での受験申込者は、実務年数0年で受験が可能です。二級・木造建築士試験を実務経験のみでの受験申込者は、従来どおり7年の実務が必要です。(※)受験申込時に実務経験が必要な場合もあります。

〈「実務経歴書」「実務経歴証明書」の書式変更〉

二級・木造建築士試験を「実務経歴要件のみ」で受験申込をする場合は、令和元年(平成31年)までの書式は認められません。必ず今年の書式を(公財)建築技術普及センターのホームページよりダウンロードし提出して下さい。

〈「指定科目修得単位証明書・卒業証明書」の書式の変更〉

令和2年3月1日以降に発行された証明書が必要です。それ以前の証明書は、認められません。

〈「過去受験番号の通知書」の発行〉

「過去の受験票」「合否の通知書」(原本)を紛失された場合、(公財)建築技術普及センターへ申請することにより発行されます。貼付することで「過去の受験票」「合否の通知書」(原本)と同様の取り扱いとなります。

■建築士免許登録申請の変更(令和2年合格者)

令和2年合格者の免許登録申請書及び必要な書類が変更になりました。

※改正法施行前(令和元年度迄)に合格されている方は、従前の登録申請書等により申請して下さい。

苦小牧支部 7回目を迎えた卒業設計コンクール審査

副支部長

蛸名 孝壮



苦小牧支部は苦小牧市、白老町、むかわ町、安平町、厚真町の1市4町の会員で構成され令和元年12月現在会員数125名で活動しております。「地域に貢献し地域の人に建築士会を知ってもらおう」その一環から将来建築を担う地元工業高校生への建築教育の一助を担い、あわせて支部会員の技術向上を目的として2014年から開始し、今回で7回目となった苦小牧工業高等学校建築科卒業設計コンクール審査を、令和2年2月7日支部会員10名が参加し同校で行いました。

今年のお題は核家族が多い昨今、世代を越えた交流ができ活気あふれる場となるよう、また中心市街地の空洞化対策も兼ねJR苦小牧駅前の旧商業施設「苦小牧駅前プラザエガオ」跡に、『まちなかの人たまる空間の創造』をテーマとした施設の設計で、18作品が建築科先生方の事前審査を受

けて設計趣旨、配置図、各階平面図、断面図、模型が選抜出展されました。これから行う審査が生徒の将来を左右することになるかも知れないと、責任の重さを感じながら審査に入りました。

四角い建物プランは少なく、円形や多角形、曲面を取り入れた形状でどれもデザイン性に富み、要求室を機能的に配置したものや、トラス梁を採用し無柱空間としたもの、中にはCADを使わずあえて製図板とT定規で作図し、設計趣旨を含む文字もすべて手書きのものもあり、どれも人と違うものを意識し独創的で且つ柔軟な発想で表現され、3年間の集大成を感じるものでした。審査は各評価項目を5点満点として合計点数により、最優秀賞1作品、優秀賞2作品を選考しました。

審査会場となった製図室に隣接して準備室があり、そこには卒業生の作品が数多く保管されています。31年前私がここで先輩方の作品を目にし手本として、先輩方の作品を上回るものをと、卒業設計に取り組んだころを思い出して

も懐かしく感じました。

日常業務ではコストや見栄え、使い勝手など依頼者からの様々な条件や要望に縛られ悩んでいます。参加した審査者は今後へつながるヒントを得ることができました。高校生らしくユニークな作品に関心し、人手不足と担い手不足の今、せめても受賞者には建築業界へ進んでほしいと願い審査を終えました。

後日結果を審査報告としてまとめて書面で通知し、2月28日全校生徒の前で校長先生から受賞者に賞状と記念品を贈呈してもらいました。



卒業設計コンクール審査

中標津支部 今までと、これからと

青年委員

久保田 俊



先日、青年委員長の方から、これ書いてみてねと言われたのですが、何を書いてよいのかわからないので、恥ずかしいですが、自分のことを書いてみようと思います。

私が、建築の道を選んだきっかけは、母が見ていたドラマがきっかけでした。なんのドラマかは覚えていないのですが、雨の中、大工さんがお婆さんの家へ雨漏りを直しに屋根に上るというワンシーンにカッコいい！とあこがれを抱きました。今考えると、なかなか不安全行動だったのはさておき。その後、実家を建てることとなり、現場へよく通うようになりました。そこで、出会った大工さん達もとても良い人で、工具を触らせてくれたり、ビスを打たせてくれたりと、実家へ帰った際には、こちら辺のビスは自分が打ったと、今でも思い出します。

卒業した高校が農業系の高校だったので、進学した工業大学で、

初めて建築の勉強をすることとなったのですが、数学が苦手なのに構造専門の科へ進み、苦しい授業に耐えながら、楽しい学生ライフを送りました。

仕事をするようになってからは、辛かったことの記憶が多く、休みなく、工期に追われながら過ごしていたような気がします。その中でも、会社の社員や、明るい現場員の方々に楽しく、時には厳しくたくさんのお話を教わり支えていただきました。なによりも、一生懸命携わった建物が完成した時の達成感は何度味わっても良いもので、やりがいを感じる瞬間です。それが癖になったのか、今も飽きずに日々建築に携わっています。

現在は縁があり、2年程前に別海町に移住しました。広大な大地、自然豊かさ、人が優しく暖かい！食がおいしくて、なぜか大盛りのご飯屋さんが多い！しかし最近、胃もたれがするようになってきたのですが、とても過ごしやすい街です。

2年前に建築士を取得し、同時

に建築士会へ誘われ、入会しました。昨年は一年目ということもあり、誘われるがまま、連れられるがまま建築士会に参加していました。9月には第62回建築士会全国大会「北海道大会」へ参加することができました。北海道大会では大会式典に参加し、北海道建築士会の勢いと、建築業界の活気を感じる機会となりました。また、なかなか足を運ぶ機会のない函館での開催ということで、滞在中は地ビールを飲みながら歩き回って建物観光を楽しみ、夜食にラッキーピエロ、朝市では海鮮丼を食べたくて毎日通いました。帰りの道中に塩ラーメンを食べ忘れたことに気づき、帰ってからかなり落ち込みました。

建築士会に入会し、今年で2年目となりますが、1年目の活動を通して、全道各地、時には全国の仲間と交流する機会が今後できたことを楽しみに感じています。できれば、自分と同じくらいの若い？会員の仲間を増やして、建築士会を盛り上げていければと考えています。

令和元年度 一級・二級建築士免許証明書交付式 北海道の合格者 一級83名 二級110名



一級建築士免許証明書交付式の皆さん

令和元年度の一級建築士合格者は全国で3,571名、内、北海道では83名。二級建築士は全国で5,037名、内、北海道では110名が合格されました。

1月25日(土)に二級建築士(参加14名)、2月15日(土)に一級建築士(参加46名)の免許証交付式が札幌ガーデンパレスにてそれぞれ開催され、合計60名の新建築士が全道各地から喜びの表情で参加されました。一級では道内合格者の半数以上の方にご出席頂きました。

様、二級では、北海道建設部住宅局建築指導課長の西澤拓哉様から頂き、皆さんは改めて合格の喜びを噛みしめていたように見られました。



二級建築士免許証明書交付式の皆さん

一級では高野会長、二級では鈴木副会長から合格お祝いの挨拶の後、両日とも長谷川統括理事から基礎編と実務編で構成された「新建築士セミナー」が行われ、合格者の皆様は真剣な眼差しで学んでいました。

参加された皆様へ免許証明書が授与された後、ご祝辞を一級では、北海道建設部住宅局長の椿谷敏夫



北海道建設部住宅局長 椿谷敏夫様



北海道建設部住宅局建築指導課長 西澤拓哉様

取材・写真

一級交付式	常務理事	牛田 健一
二級交付式	情報委員会	片岡 哲二

道士会の動き

道本部の主な会議報告（3月）

◆四役会議

〈開催日〉3月3日(火)

〈議題〉1) 第1回理事会議案等

◆第1回理事会

〈開催日〉3月6日(金)

〈議題〉※議題はすべて承認済

- 1) 令和元年一般会計収支予算の流用(案)
- 2) 令和元年一般会計事業報告及び収支決算(案)
- 3) 令和元年特別会計事業報告及び種子決算(案)
- 4) 全国大会特別会計事業報告及び収支決算(案)
- 5) 令和2年定時総会
- 6) (一社)北海道建築士会二級建築士及び木造建築士登録等事務規定の改正(案)
- 7) (一社)北海道建築士会二級建築士及び木造建築士登録等事務取扱要領の改正(案)
- 8) 一級建築士登録等事務を行う日及び時間
- 9) (一社)北海道建築士会有期契約職員等就業規則の改正
- 10) 令和2年一般会計事業計画の基本方針
- 11) (株)総合資格との講座割引支援に関する提携
- 12) 定款第6号に基づく会員の入会承認(案)

◆第2回理事会

〈開催日〉3月27日(金)

〈議題〉※議題はすべて承認済

- 1) 会長、副会長、専務理事の選任
- 2) 統括理事及び常務理事の任命

道本部の主な行事予定（4月）

- 11日(土) 第2回青年委員会
 25日(土) 第1回情報委員会
 25日(土) 第2回総務委員会

CPD認定プログラム(3月認定)

プログラム認定は、ありませんでした。

令和2年 専攻建築士認定状況

3月23日(公社)日本建築士会連合会専攻建築士認定評議会にて、下記の通り認定されました。

- 新規申請 1名(1領域)
 更新申請 34名(43領域)
 専攻建築士総数(北海道) 109名(129領域)
 ※令和3年専攻建築士申請受付は、令和3年1月4日～2月28日を予定しています。

講習会のご案内

監理技術者講習

4月23日(木) 札幌市

令和2年第1期建築士定期講習

5月28日(木) 旭川市 6月2日(火) 札幌市

上記講習会について同封の案内書及び(一社)北海道建築士会HPをご覧ください。WEBでのお申込みが簡単です。

関係法令等の改正に伴う各契約約款の改定版販売開始

改正(4月1日)される約款等(すべて2部1セット・税込)※民間(旧四会)から民間(七会)に変更になりました。

民間(七会)連合協定工事請負契約約	930円
民間(七会)連合協定小規模建築物設計施工一括用工事請負契約約款	837円(会員外930円)
民間(七会)マンション修繕工事請負契約約款	837円(会員外930円)
民間(七会)リフォーム工事請負契約約款	522円(会員外580円)
建築設計・監理等業務委託契約書類	990円(会員外1,320円)
建築設計・監理等業務委託契約書類(小規模向け)	880円(会員外1,100円)

各改正内容は、「民間(七会)工事請負契約約款委員会」(<http://gcccc.jp/>)のHPをご覧ください。また、旧約款書類の返品・交換は致しかねます。ご了承ください。

編集後記

新年度がスタート。今年度もいろいろと頑張るぞ!!と、思いつつも新型コロナウィルスが世界各地に広がり、建設業にも影響が…。イベント中止の寂しいお知らせがあり、東京オリンピックが開催できるの!?!と、気になりながらのスタート。早く平和な日本、そして世界になって欲しいものです。今年度もみなさんと一緒に、北海道建築士会でも明るいニュースをご報告できるよう夢と希望をもって、積極的に活動していきましょう♪

情報委員会 境谷 香奈(恵庭支部)

情報委員会委員長/斎藤 勝哉
 副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁
 委員/柏倉 晶恵・村山 賢司
 片岡 哲二・境谷 香奈

北海道建築士 No.272号

印刷 令和2年3月/発行 令和2年4月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
 大五ビル
 電話 (011)251-6076番
 URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
 電話 (011)811-7151番